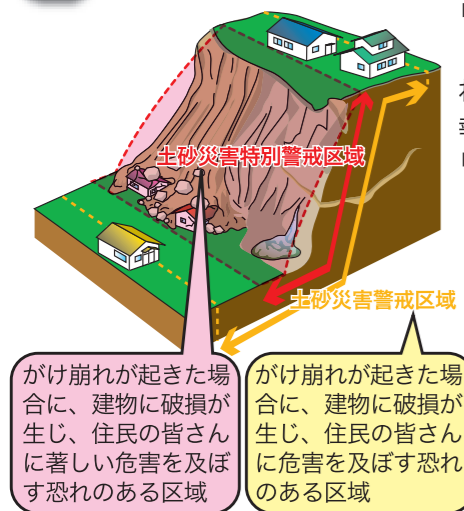


土砂災害ハザードマップ

阿見町土砂災害ハザードマップの内容は阿見町ホームページでも公開しています。

阿 見町で予想される土砂災害の原因は主に「がけ崩れ」です。



「傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象」をがけ崩れといいます。大雨や長雨、地震などの影響で突然がけが崩れ落ちてきます。きわめて速いスピードで崩れ落ちてきますので、崩れ始めてから避難しても間に合いません。避難情報、土砂災害警戒情報や近くのかげの前兆現象・異変に注意し、早めに安全な場所に避難することが重要です。「土砂災害(特別)警戒区域」に指定された斜面の周辺では、特に気をつけましょう。

【がけ崩れの前兆現象】



がけ崩れが起きた場合に、建物に破損が生じ、住民の皆さんに著しい危害を及ぼす恐れのある区域

がけ崩れが起きた場合に、建物に破損が生じ、住民の皆さんに危害を及ぼす恐れのある区域

土砂災害危険箇所の詳細な範囲等については茨城県のホームページに公開されています。
<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/dosya/index.htm>

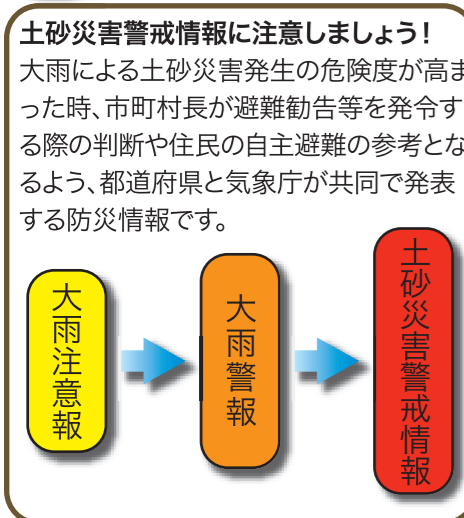
土砂災害に関するご不明な点や異常時のお問い合わせ先は・・・
 阿見町役場 総務部交通防災課 (tel 029-888-1111 代表)
 茨城県竜ヶ崎工事事務所河川整備課 (tel 0297-65-3411 代表)

素 早く避難するための日頃の用意。

- 1. 身近な危険箇所をチェック。**
自分の家や勤め先、学校などが土砂災害危険箇所、土砂災害(特別)警戒区域、浸水想定区域内にあるか、ハザードマップ等で確認しておきましょう。
- 2. 避難場所や避難経路は決めておく。**
あらかじめ、いざというときに避難する場所を決め、安全な避難経路を確認しておきましょう。また、家族で避難方法や連絡手段を話あっておきましょう。

- 3. 必要な持ち出し品は事前に準備!**
- | | | |
|-----------|--------------|-----------------------|
| 食料・飲料水3日分 | 現金・通帳・カード | ラジオ・懐中電灯
予備電池・ロウソク |
| 着替え・ヘルメット | トイレトイレットペーパー | 常備薬・雨具・介護用品 |

災 害が発生しても慌てず、おちついて避難しましょう。



- 危険を感じたら早めに避難
 がけに異常を感じたら早めに自主的に避難してください。また、町役場などから避難準備情報、避難勧告、避難指示が出されたら、速やかにその指示に従ってください。
- | | |
|---------------|--------------------------|
| 避難準備情報 | 避難の準備を始めましょう。要援護者は避難を開始。 |
| 避難勧告 | 避難を始めてください。 |
| 避難指示 | ただちに避難してください。 |

要援護者の支援を忘れずに!
 高齢者、乳幼児、障がい者、傷病者、外国人など、「要援護者」と呼ばれる人たちは、災害時に自力での避難が、難しいことがあります。できるだけ地域で支援するようにしましょう。

このマップは、土砂災害が発生するおそれのある区域や避難所の位置を示したもので、土砂災害が予想される場合や発生した場合の避難等に役立ていただくものです。

土 砂災害ハザードマップを使ってみましょう。

オモテの地図に「ご自宅の位置」、「避難の時に危険となる場所」など、ご自分が必要とする情報を書き込んで、【ご自分のハザードマップ】を作成して下さい。また、避難場所までの安全な避難経路を考え実際に歩いてみましょう。

<p>①自宅の位置を確認する</p> <p>オモテの地図からご自宅の位置を確認しましょう。</p>	<p>④より安全な避難経路を考える</p> <p>自宅などから近くの避難先までの安全な避難経路を考えて下さい。できるだけ早く崖から離れ、危険な場所に近づかないような経路を選びましょう。</p>
<p>②避難する場所を確認する</p> <p>災害の時に避難する場所＝「一時避難場所」の位置を確認しましょう。もし、遠い場合など、いったん地域等で集合するのに利用できる公民館などの施設も確認しましょう。</p>	<p>⑤自分の目で確認する</p> <p>実際に避難経路を歩いて確認してみましょう。そのときには、大雨が降っていることを考えながら「安全に通行できるか?」など避難の際に注意すべきことや知っておくべきことを、自分の目で確認してください。</p>
<p>③大雨のときに危険になる場所を確認する</p> <p>大雨の時は河川や水路の近くは増水して危険です。そのほか、危険な場所を確認して地図に書き込みましょう。</p>	<p>⑥災害時の対応を話し合う</p> <p>避難経路や方法について家族で、ご近所で話し合ってください。避難の際に手助けが必要な方がご近所にいないかなどを確認し、災害時の行動や知識を地域で共有しておき、いざというときに協力しあうことが重要です。</p>

日頃から防災準備を行い、意識を高め、災害から大切な家族を守りましょう。